

先輩の姿を見て、後輩が育つ

四月十七日(水)今年度最初の生徒会行事となる新入生歓迎会を実施し、新入生に対して生徒会活動の紹介説明が行われました。

二年生、三年生には始業式で、「先輩が憧れる、素敵な先輩になって欲しい。」という話をしました。それは、「目標や目的をもった、無駄のないスマートな生活」を、二年生は一年生に、三年生は二年生と一年生に示すというものです。その最初の機会となる新入生歓迎会、「やっぱり、先輩はすごい!」と思ってもえたらバッチリ、という話をして、スタートしました。

この日のために春休みから準備をして臨んだ「三年生。小原田中の元気が十分発揮される」とともに、説明のすべをノー原稿で行う力の入れように、一年生も圧倒されたのではないでしょう。

「中学生って、自分たちでこんなことまでできるんだ。」と一年間の経験量に違いを感じてもらえたら、「やっぱり、先輩はすごい!」に近づけたのではないかと思います。



生徒会活動と呼ばれる、委員会活動や生徒会行事、部活動、これらの活動は、小学校とはまた違った、中学校らしい活動といえます。先輩の姿を見て後輩が育つ、そして、その活動全体が皆を成長させる。そんな素敵な活動がこの生徒会活動です。

また、これが先輩から後輩へと脈々と受け継がれ、大きな成果となっているところが、いわゆる伝統校と呼ばれる学校です。小原田中の伝統を、より明確にし、さらにアップデートしていくことが大切となります。

部活動については、地域移行という全国的な流れがあり、入部については個人の判断に任ざられています。ただ、中学校の部活動は、人生のうちで三年間しか経験できない、貴重な活動です。

先輩の姿を見る一年生、先輩と後輩がいる二年生、先輩に範を示す三年生、それぞれの立場で考え、経験したことは、一生の宝物となり、自分の人生で大きな武器であり、財産となり得ます。今しかできない経験なので、是非入部して宝物となる経験をゲットして欲しいと考えます。



後輩が憧れる素敵な先輩

令和6年度が始まりました



四月八日(月)朝から、新たに七名の職員を迎えての着任式、第一学期始業式を行い、午後からは、一〇二名の新入生を迎えての入学式を挙行し、令和六年度がスタートしました。

始業式では、新年度という節目を迎え、最高学年となる三年生、中堅学年となる二年生には、それぞれの立場が変わることでの期待感、新しい人間関係を築いていくことへの心構え等について話題にし、目標や意欲をもって楽しい学校生活を皆でつくりあげていくよう話しました。

子どもたちは、年度始めに相応しい、元気な声で校歌を斉唱し、新年度をスタートさせました。

入学式では、PTA会長

様、学校運営協議会長様、同窓会長様をご来賓にお迎えし、地域の皆様とともに新入生の入学をお祝いいたしました。

小原田中学校の制服を着て、目を輝かせている子どもたちの表情をみて、私たち教職員が、日々、未来と向き合っていることを改めて自覚しました。

変化の激しい社会情勢、想定外を繰り返す自然災害や気候変動、世界規模で襲ってくる感染症など、子どもたちを取り巻く環境は、尋常なものとは思えません。

現行の学習指導要領では、そんな予測不可能な未来を力強く生きていくための資質・能力を子どもたちに身につけさせること

着任式・始業式・入学式

令和6年4月号
郡山市立小原田中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0720007>



を目標としています。

それだけに、子どもたちには、制服、運動着で外見を揃え、地に足を着けた中で内面を磨き、光り輝かせることで成長する、そんな三年間が中学校生活であることを、しっかりと伝えていきたいと考えます。

国際人である前に日本人として大切なこと、人の前に出る前に人として大切なこと、そこを心の内にもっているからこそ、人に寄り添えること、それを伝えるために、私たち教職員は日々努力して参ります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。